



令和8年度
厚生労働省 臨床研究総合促進事業
臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム

臨床研究・ 治験従事者 研修

参加費
無料

坂口志文先生
ノーベル生理学・医学賞受賞
おめでとうございます。

大阪大学
「ワニ博士」



統計家の目線で臨床研究を学ぼう！

臨床研究のデザイン構築に必要な統計学的要素を 実践形式で学ぼう！

世界的な研究成果の背景には、綿密な研究計画と信頼性の高い統計解析があります。本研修では、未来医療を切り拓く臨床研究の実践力を、研究デザイン・医学統計とともに学びます。

世界へ羽ばたくノーベル級の臨床研究を、ここから始めましょう！

日 時

令和8年 **8月29日(土)**
10:00～15:00

対 象

医師、歯科医師等

臨床研究の実施経験は問いません。本研修は、医師・歯科医師を受講対象としますが、応募者数が募集人数に達しない場合は医師・歯科医師のほか、疫学研究者や看護師、薬剤師等、その他の研究者も受講可能です。

開催形式

Web (Zoom)

募集人数

30名

全プログラムを受講のうえ、アンケートにご回答いただいた方には修了証を発行いたします。

募集締切

令和8年 **8月7日(金)**



詳細はこちら

<http://osku.jp/e0908>



参加申込はこちら

<http://osku.jp/e0810>

プログラム ※事前学習として大阪大学医学部附属病院が提供する、臨床研究に関するe-learningサイトにて約2時間30分の受講が必須です。

事前学習	臨床研究とはじめ「臨床研究の立案から開始まで」	クリニカルクエスチョンから臨床研究の立ち上げまでを概説し、本研修テーマである「試験デザインの構築」に必要な統計学の基礎知識を事前学習していただきます。臨床研究ノウハウや統計学について、体系的な講義を聴ける機会はなかなかありません！
	因果推論入門「交絡の制御とランダム化の効用」	
	統計基礎知識「研究者が知っておくべき統計基礎知識」	
	患者・市民参画(PPI)「レイサマリーの作成」	
研修	講義1 因果推論入門 グループワーク1	臨床研究で明らかにしたい「真の因果関係」を言語化・明示化する手法を学びます。交絡を制御する手段について学び、実際に試験デザイン構築に活かす方法を身につけましょう！
	講義2 サンプルサイズ設計入門 グループワーク2	サンプルサイズ設計に必要な事前準備や効果量見積もりの考え方について、実践を通して統計家の目線で学びます。今後の研究において、自分でサンプルサイズ設計するのによし！統計家へのコンサルテーションに役立てるのによし！

お問合せ窓口

主 催 : 大阪大学医学部附属病院
お 問 合 せ : 大阪大学医学部附属病院未来医療開発部臨床研究センター研修事務局
E - M a i l : ishi-kensyu@dm1.med.osaka-u.ac.jp